

◆ 機械構造実習 1班 3～7日、2班 10～14日

今回の機械構造実習ではスピンドル（回転軸）の芯出し作業等を行います。精密を要する芯出し作業中は精神を研ぎ澄まして作業します。ダイヤルゲージなどの測定器を使って芯のズレを計測し、シム調整作業を実施します。



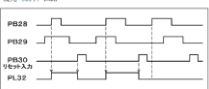
芯出し作業は、ダイヤルゲージを使用して微調整するので、指先まで集中して作業します。



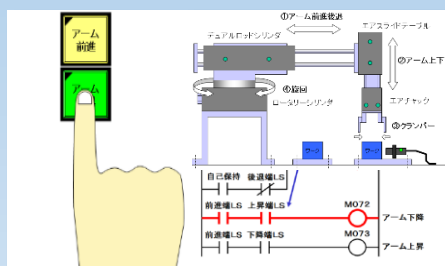
◆ PLC回路作成実習 1班 17～20日、2班 24～27日

この実習では、タイムチャートを読み取り回路設計を行うだけでなく、安全回路や動作制御回路等、生産技術標準に則った回路も学びます。

タイムチャート



回路作成し、実機で動作を確認します。



■ R・O

今まで習ったシーケンス回路を応用して回路作成を行いました。今後、現場で生かすことができるように、復習して忘れないようにします。



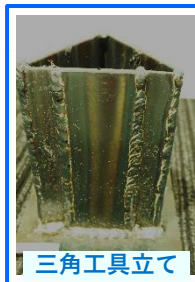
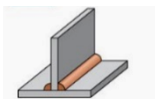
新任のA指導員、頑張ってます！



座学では興味を持ってもらえるような経験談や補足説明を加え、分かりやすく丁寧に教えることができました。

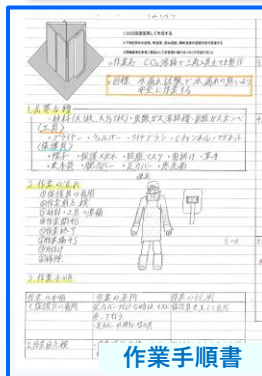
◆ CO2溶接実習 2班 3～7日、1班 10～14日

CO2半自動溶接では、板厚に対しての電流、電圧の調整をしながら各要素溶接方法を練習して、課題の三角工具立てを製作します。また、その製作手順書も作成し提出します。



三角工具立て

ワイヤー突き出し長さを意識しながら作業姿勢を整えて溶接します。



作業手順書

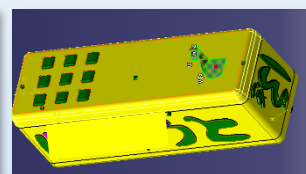
■ Y・Y

はじめてCO2溶接機を使用しましたが、被覆アーク溶接の時より自信を持って作業が出来ました。課題の三角工具立ての水漏れ試験では少しにじみ出てしまい、難しさを感じました。



◆ CATIA実習 2班 17～20日、1班 24～27日

自動車メーカーで主に導入されている3次元CAD (CATIA V5) における、ソリッド、サーフェス、アセンブリー、ドラフティングまでの基本的な全体の流れと基本操作スキルを学びます。



■ Y・I

初めはCATIAソフトの操作に慣れるまで時間が掛かりましたが、後半には複雑な形状でも作ることができるようになり、思い描いた通りにできて良かったです。

◆ 21日(金) 大和工場見学



K先輩(12期卒)による設備課の説明



からくりの完成度の高さに驚き、メモを取りました。

大和工場のみなさん、ありがとうございました。



K先輩(1期卒)

S先輩(10期卒)

S先輩(11期卒)

Y先輩(8期卒)

先輩との懇談では今まで取り組んできた仕事や配属に向けてのアドバイスをもらいました。

◆ 9日(日) 第11回職場対抗駅伝 決勝大会

イベント特別号No.1

9日(日)に第11回職場対抗駅伝 決勝大会が開催されました。
宮城地区予選では6位だった学園ファルコンズは決勝大会で【優勝】を目標に掲げて最後まで戦い抜きました。タイムを縮めることができた人もいて健闘しましたが、24チーム中、及ばず13位でした。

学園ファルコンズ

宮城地区予選	タイム	0 : 59 : 38
決勝大会	タイム	1 : 00 : 26

24チーム中、13位!

 1区 3:50 S・T 自己ベスト更新! 10秒↑	 2区 10:50 Y・I 20秒down	 3区 4:28 T・K 13秒down	 4区 11:53 Y・T 33秒down	 5区 4:08 T・S 8秒down	 6区 10:43 Y・Y 自己ベスト更新! 13秒↑	 7区 4:04 R・O 5秒down	 8区 10:30 R・K 自己ベスト更新! 8秒↑	
予選タイム	1区 4:00	2区 10:30	3区 4:15	4区 11:20	5区 4:00	6区 10:56	7区 3:59	8区 10:38



次は12月7日(日) カップハーフマラソンに挑戦!

